

【「地域こん談会」を開催しました】

7月24日（水）、畑野町と亀岡市がまちづくりについて意見を交わす「地域こん談会」を畑野町公民館で開催しました。

自治会からは常任委員のほか各種団体代表の20名が出席、市からは市長以下特別職及び幹部職員17名が出席して、様々な地域課題を共有する中で、共通した目標をもって市と自治会が協働して畑野町のまちづくりを進めていくことを確認し合いました。

はじめに、昨年自治会が実施した「まちづくりアンケート」の結果概要を報告し、このアンケートから、町民が畑野町に住み続けたいという願いを持ちながらも、生活基盤の弱さに不安を抱いて暮らしていることを伝え、次の4項目について確認しました。

- ① 民生委員の負担軽減に向け、活動を支援する専任職員のサポーターの配置を提案し、検討してもらえることとなりました。
- ② 空き家の緊急安全措置として、住民が市に代わって建物除去をした際に生じる廃材等を、市施設で無償受入れとすることを提案し、検討してもらうこととなりました。
- ③ 消防分署（西部出張所）の設置については、亀岡市内に設置に向けた協議を進めているが、もう少し時間が必要である。
- ④ 共通する課題解決に西部地域が連携していく場づくりについては、実現の方向で合致し、別途協議することとなりました。



（畑野の里に自生するアジサイやリンドウなどの草花を飾ってのもてなしが大変好評で、会場の雰囲気をもたげることになりました。）

まちづくりに関するアンケート調査結果

☆ 概要	平成30年2月 畑野町全世帯を対象に実施
☆ 調査項目	① 基礎的事項 ② 定住意向・生活での実感 ③ 畑野の将来イメージ ④ まちづくりへの提案・要望
☆ 結果概要	
① 基礎的事項	回答率 約23%（男女比 7:3） 60歳代が最も多く平均年齢は66.8歳 世帯構成 夫婦のみ47%、一人暮らし19% 居住年数20～30年44%、30年以上33%
④ 住みやすさ	住むにいいどちらかといえば住みにくい → 39% 住みやすいどちらかといえば住みやすい → 37% どちらともいえない → 24%

